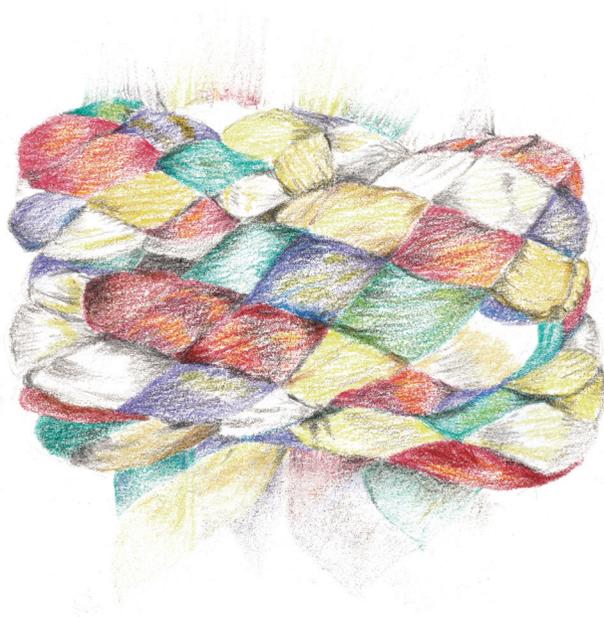


南山大学
人間関係研究センター



CENTER FOR THE STUDY OF HUMAN RELATIONS
NANZAN UNIVERSITY

2024



Human Relations

Designed by Hiroshi HAMAMOTO

多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会を創り出すために

南山大学人間関係研究センターは、一人ひとりの存在を大切に、誰もが自分らしく生きられる人間性豊かな社会の実現を目指して、現代社会にとって大きなテーマの一つである「人間関係」に焦点をあてた研究と、その成果を広く社会へ還元するための取り組みを行っています。

センター員がそれぞれのフィールドを通して取り組む研究は、従来型の客観的分析的研究にとどまらず、対人関係・組織・人間性・社会など、幅広い分野における実践的研究の豊富さが特色です。

公開講座では、誰もが人間関係を実践的に学ぶことができる場を提供しています。南山で伝統的に取り組んできた「ラボラトリー方式の体験学習」という学習方法を通して、人間関係への学びを深めていくことのできる講座群を展開するとともに、スタッフの専門性と特色を生かした講座も開催しています。これらの講座には、日本全国から多くの方がご参加くださり、2023年度現在の修了者数は延べ9477名にのぼっています。

この他にも、公開講演会やワークショップの開催、メールマガジンによる情報発信、人間関係トレーニングを必要とされる様々な領域での受託事業などを通じて、多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会の実現に向けて、日々取り組んでいます。

南山大学人間関係研究センターの生い立ち

南山大学人間関係研究センターの起源は、南山短期大学人間関係研究センターにあります。同センターは、1977年9月以来23年に渡って活発な活動を展開してきました。2000年4月、その母体となる南山短期大学人間関係科が、南山大学文学部教育学科とともに人文学部心理人間学科へと発展したことを機に、南山大学5つめの研究センターとして、新たな活動を開始しました。現在では、人間関係に関する研究の推進と、社会人を対象とした学び場の提供を柱としながら、多様な活動を展開しています。

CONTENTS

Volume 37, 2024

■ センター活動紹介	3・4
■ 公開講座カレンダー	5
■ 対面講座共通〔感染症予防や健康管理について〕	6
■ オンライン講座共通〔ご確認いただきたい項目及び注意点〕	7
■ 公開講座開催一覧	8
1 第10回人間関係講座（ベーシック）	9
2 第124回人間関係講座（グループ）	10
3 第125回人間関係講座（コミュニケーション）	11
4 第2回人間関係講座（オンライン）	12
5 Tグループ〔人間関係トレーニング〕	13
6 ポジティブ生徒指導入門	14
7 パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ〈ベーシック〉	15
8 パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ〈アドバンス〉 パーソンセンタード・リスニング・トレーニング	16
9 パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ〈フォーカシング〉	17
10 パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ ベーシック・エンカウンター・グループ	18
公開講演会	19
センター員紹介	20・21
研究の推進	22
センター員の社会貢献	23
受講申込手順	24・25
緊急時における講座の取り扱い	26
交通・会場案内	27・28

表紙について

五色紐

Braid with the five colors

昨年、お世話になったお寺から五色紐をいただいた。「五色」は、赤、黄、青、白、黒（現在は、青は緑、黒は紫とすることもある）を指し、お寺の行事などでも五色の幕を目にする。1つ1つの糸は細いものだが、これが編み込まれ、ある程度の太さの紐になる。五色の糸が規則正しく編まれ調和した色合いとなる。

この五色によって、ほぼすべての色を作り出すことができるが、この五色をそれ以外の色から作ることはできない。すなわち、なくてはならない色である。仏教ではそれぞれの色に意味があり、宇宙観や自然観などが含まれる。色の特徴と世の中のあり様を深く理解し表現している。五色それぞれを使って新たな色を創造すると考えると、すべては繋がりと、結ばれる。

Center for the Study of Human Relations
Nanzan University
18 Yamazato-cho Showa-ku Nagoya, Japan 466-8673
Editor: Rumi Ito, Tomoko Hatayama, Tsuyoshi Aoki
Cover: Braid with the five colors by Rumi Ito

南山大学人間関係研究センターの活動

当センターは、人間及び人間関係の学際的研究や実践を推進することと、その成果を公開していくことを目的としています。特に、人間関係を学ぶための「ラボラトリー方式の体験学習」という教育方法の研究及び開発には、長い取り組みの歴史があり、日本における中心的役割を担ってきました。

当センターの活動内容は以下の通りです。

公開講座の開催

ラボラトリー方式の体験学習を用いた講座や人間関係領域の講座の開催

研究の推進

研究活動の実施 人間関係に関する学際的な研究の実施、定例研究会の開催

研究成果の公表 公開講演会の開催、センター紀要『人間関係研究』の出版

研究資料の収集 人間関係に関する文献の収集

センター員の社会貢献（コンサルテーション）

人間関係に関する研修の講師派遣や企画、組織開発コンサルティングなどの実施

人間関係研究センターのWebサイトで最新情報をご覧いただけます。また、公開講座・公開講演会・公開講座カタログなどのお申し込みができますのでご利用ください。



月1回メールマガジンを
配信しています。
お申し込みは
Webサイトからどうぞ。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/>

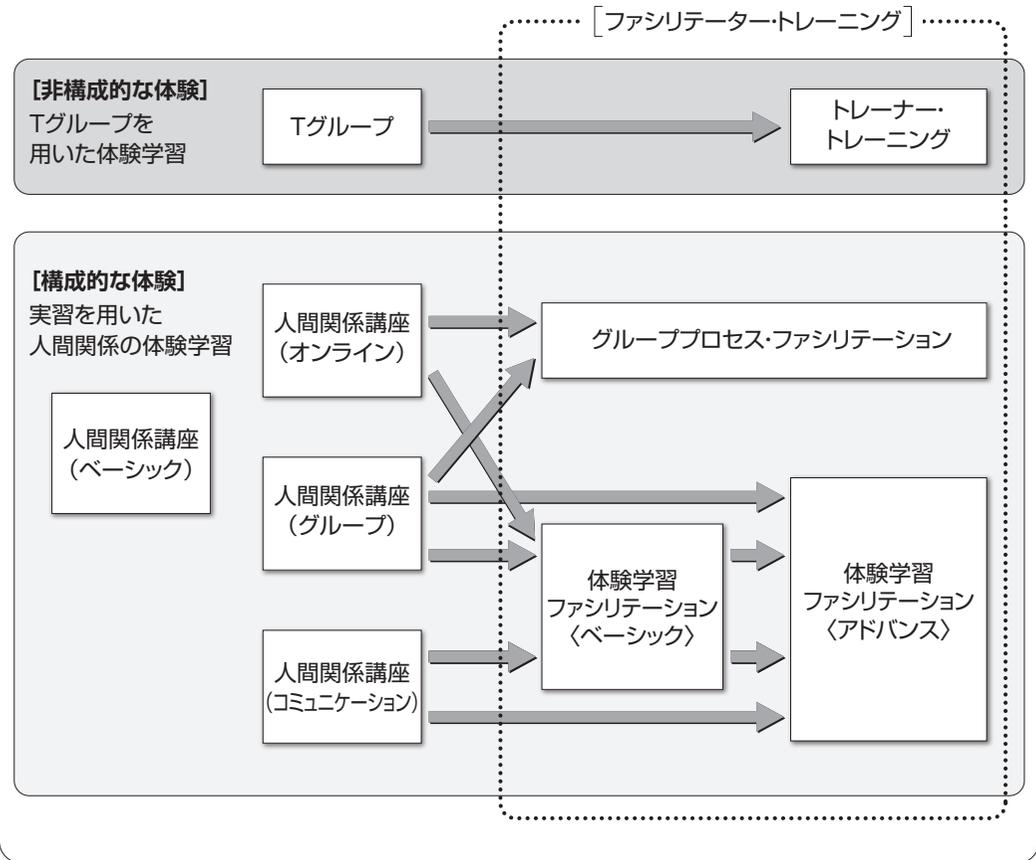
公開講座の開催

当センターが開催する公開講座の位置づけは、下記のようになっています。

【講座の位置づけ】

ラボラトリー方式の体験学習の講座

ラボラトリー方式の体験学習の発信と普及のために実施されている講座です。矢印の先（右側）の講座にお申し込みいただく際は、左側の講座から順に受講してください（詳しくは、各講座のページをご覧ください）。



人や人との関わりに関する講座

当センター員及び外部講師が担当する、人間関係や「わたし」に光を当て、体験的に学ぶ講座

ボディワーク・セミナー

システム論で捉える人間関係

ポジティブ生徒指導入門

パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ

※開催される公開講座は年度により異なります。

公開講座 カレンダー 2024~2025

人間関係研究センター

2024年4月		5月	6月	7月	8月	9月
1 月	第1次受付期間 (抽選)	1 水	1 土	1 月	1 木	1 日
2 火		2 木	2 日	2 火	2 金 講20⑤	2 月
3 水		3 金	3 月	3 水	3 土 生徒指導	3 火
4 木		4 土	4 火	4 木 講20③	4 日	4 水
5 金		5 日	5 水	5 金	5 月	5 木
6 土		6 月	6 木 講20①	6 土 23Tグループフォロー	6 火	6 金
7 日		7 火	7 金	7 日	7 水	7 土
8 月		8 水	8 土	8 月	8 木	8 日
9 火		9 木	9 日	9 火	9 金	9 月
10 水		10 金	10 月	10 水	10 土	10 火
11 木		11 土	11 火	11 木	11 日	11 水
12 金		12 日	12 水	12 金	12 月	12 木
13 土		13 月	13 木	13 土	13 火	13 金
14 日	14 火	14 金	14 日	14 水	14 土	
15 月	15 水	15 土	15 月	15 木	15 日	
16 火	16 木	16 日	16 火	16 金	16 月	
17 水	第1次申込結果通知期限	17 月	17 水	17 土	17 火	
18 木	第2次受付開始	18 土 講10B	18 火	18 木 講20④	18 日	
19 金	19 日	19 水	19 金	19 月	19 木 講20⑥	
20 土	20 月	20 木 講20②	20 土	20 火	20 金	
21 日	21 火	21 金	21 日	21 水	21 土	
22 月	22 水	22 土 } 講124G	22 月	22 木	22 日	
23 火	23 木	23 日	23 火	23 金	23 月	
24 水	24 金	24 月	24 水	24 土	24 火	
25 木	25 土	25 火	25 木	25 日	25 水	
26 金	26 日	26 水	26 金	26 月	26 木	
27 土	27 月	27 木	27 土	27 火	27 金	
28 日	28 火	28 金	28 日	28 水	28 土	
29 月	29 水	29 土 } PCA	29 月	29 木	29 日	
30 火	30 木	30 日 } <ベネシク>	30 火	30 金	30 月	
	31 金		31 水	31 土		

10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月
1 火	1 金	1 日	1 水	1 土	1 土
2 水	2 土	2 月	2 木	2 日	2 日
3 木	3 日	3 火	3 金	3 月	3 月
4 金	4 月	4 水	4 土	4 火	4 火
5 土 } PCA	5 火	5 木	5 日	5 水	5 水
6 日 } <アドバンス>	6 水	6 金	6 月	6 木	6 木
7 月	7 木	7 土	7 火	7 金	7 金
8 火	8 金	8 日	8 水	8 土	8 土
9 水	9 土 } PCA	9 月	9 木	9 日	9 日
10 木	10 日 } <フォーカシング>	10 火	10 金	10 月	10 月
11 金	11 月	11 水	11 土	11 火	11 火
12 土	12 火	12 木	12 日	12 水	12 水
13 日	13 水	13 金	13 月	13 木	13 木
14 月	14 木	14 土	14 火	14 金	14 金
15 火	15 金	15 日	15 水	15 土	15 土
16 水	16 土	16 月	16 木	16 日	16 日
17 木	17 日	17 火	17 金	17 月	17 月
18 金	18 月	18 水	18 土	18 火	18 火
19 土	19 火	19 木	19 日	19 水	19 水
20 日	20 水	20 金	20 月	20 木	20 木
21 月	21 木	21 土	21 火	21 金	21 金
22 火	22 金	22 日	22 水	22 土	22 土
23 水	23 土	23 月	23 木	23 日	23 日
24 木	24 日	24 火	24 金	24 月	24 月
25 金	25 月	25 水	25 土	25 火	25 火
26 土 } 講125C	26 火	26 木	26 日	26 水	26 水
27 日 } 講125C	27 水	27 金	27 月	27 木	27 木
28 月	28 木	28 土	28 火	28 金	28 金
29 火	29 金	29 日	29 水	29 木	29 土
30 水	30 土	30 月	30 木		30 日
31 木		31 火	31 金		31 月

(注) 各公開講座の略称は下記の通り

- 第10回人間関係講座(ベネシク)→講10B
- 第124回人間関係講座(グループ)→講124G
- 第125回人間関係講座(コミュニケーション)→講125C
- 第2回人間関係講座(オンライン)→講20①~⑥→1回目~6回目
- Tグループ(人間関係トレーニング)→Tグループ
- 2023年度Tグループ フォローアップ日→23Tグループフォロー

人間関係研究センター事務局休業予定日

- ポジティブ生徒指導入門→生徒指導
- バーンソンセンタード・アプローチ・ワークショップ(ベネシク)→PCA(ベネシク)
- バーンソンセンタード・アプローチ・ワークショップ(アドバンス)→PCA(アドバンス)
- バーンソンセンタード・アプローチ・ワークショップ(フォーカシング)→PCA(フォーカシング)
- バーンソンセンタード・アプローチ・ワークショップ(ベネシク・エンカウンター・グループ)→PCA(エンカウンター)

対面講座共通 { 感染症予防や 健康管理について }

対面講座をお申込みいただくにあたり、以下の内容をご確認・ご了承いただきますよう、
お願い申し上げます。

以下の事項に該当する場合は、講座当日の来校をご遠慮ください。

- ・体調がよくない場合（例：発熱、極端な咳、全身倦怠感、咽頭痛などの症状がある場合）
- ・受講者本人が新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症にかかり、発症後5日間
を経過していない場合

※新型コロナウイルスまたはインフルエンザの感染が理由で受講をキャンセルされた場合は、
診断書の提出を条件に、全額ご返金いたします（振込手数料はご負担ください）。

マスクの着用については、個人の判断に委ねます。ただし、他者と十分な距離
（およそ2メートル）が確保できず、発声する場面では、マスクの着用を推奨します。

定期的な換気を行います。

オンライン講座共通 { } 【 】 ご確認いただきたい項目 及び注意点

オンライン講座は、web会議アプリケーション Zoomを使用して実施します。オンライン講座をお申込みいただくにあたり、以下の内容をご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

- ①PCからZoomへの接続が可能であることをご確認ください。
※携帯電話やiPadなどのタブレットからZoomに接続して、講座にご参加いただくことは避けてください。Zoomの機能制限の関係上、AndroidやiOSを使用した端末からは、講座で使用するZoomの機能が使えないためです。PCにZoomのアプリをインストールしたうえで、Zoomに接続することをお願いします。
- ②ある程度の速度（ダウンロード50Mbps以上を推奨）のインターネット環境から接続してください。
※「インターネット 速度テスト」で検索し、fast.comなどで計測できます。
- ③Zoomアプリを最新バージョンへ更新することを推奨します。
(古いバージョンでは講座内で使用する機能がうまく使用できない可能性があります。)
- ④講座は体験学習で進められ、他の参加者の方々と関わる実習を行います。他の参加者の方に影響するため、遅刻や早退が生じる場合は、講座にご参加いただけません。欠席の場合は、必ず事務局へご連絡ください。開講時間中の実習全てに参加できるよう、時間確保をお願いします。
- ⑤参加者のプライバシーへの配慮および講座に集中していただくため、他者の出入りが無い場所からZoomにアクセスし、講座に参加してください。講座中に参加者以外の方と話したり、参加者以外の方がZoom画面を見たりする（音声を聞く）といった状況が生じないように、ご配慮ください。他者との会話が必要な場合は、休憩中をお願いします。
- ⑥昼食休憩のタイミングが講座内容によって変わります（講座当日の最初に、スケジュールをお伝えする際に、昼食休憩の時間もお伝えします）。
- ⑦参加者の皆さまのプライバシー保護の観点から、以下の行為はお控えくださるようお願いいたします。
 - ・講座中の録画や録音、スクリーンショットや携帯電話などでの画像撮影
 - ・実習中などに起こった具体的な出来事や他の参加者の方の情報をSNS等に投稿すること
- ⑧講座中の接続トラブルに備えて、当センターにより、講座全体の録画をさせていただきます。この録画は、インターネット等の不具合で講座に参加できない方が生じた場合にのみ、その方に限って、ファシリテーターによる小講義やコメント部分を閲覧できるようにするためのものです。録画の際は、スピーカービューでファシリテーターが主に映るよう記録し、それ以外の目的では使用しません。

以上の内容に同意いただいたうえで、お申し込みいただけますと幸いです。

2024年度 人間関係研究センター 公開講座開催一覧

● ラボラトリー方式の体験学習の講座 ●

No.	講座名	日程	担当講師	ページ
1	第10回 人間関係講座 (ベーシック)	5/18(土)	中尾 陽子 大塚 弥生	9
2	第124回 人間関係講座 (グループ)	6/22(土)、6/23(日)	伊東 留美 大塚 弥生	10
3	第125回 人間関係講座 (コミュニケーション)	10/26(土)、10/27(日)	森泉 哲 中尾 陽子	11
4	第2回 人間関係講座 (オンライン)	6/6(木)、6/20(木)、7/4(木) 7/18(木)、8/2(金)、9/19(木)	池田 満 中村 和彦	12
5	Tグループ [人間関係トレーニング]	2025/3/8(土)~3/13(木)	楠本 和彦 中西 美和 他	13

● 人や人との関わりに関する講座 ●

No.	講座名	日程	担当講師	ページ
6	ポジティブ生徒指導入門	8/3(土)	宇田 光	14
7	パーソンセンタード・アプローチ・ワーク ショップ (ベーシック)	6/29(土)、6/30(日)	青木 剛 永野 浩二 山根 倫也	15
8	パーソンセンタード・アプローチ・ワーク ショップ (アドバンス) パーソンセンタード・リスニング・トレー ニング	10/5(土)、10/6(日)	青木 剛 並木 崇浩 大島 利伸	16
9	パーソンセンタード・アプローチ・ワーク ショップ (フォーカシング)	11/9(土)、11/10(日)	青木 剛 加藤 敬介 竹田 悦子	17
10	パーソンセンタード・アプローチ・ワーク ショップ ベーシック・エンカウンター・グループ	未定 ※決定次第、人間関係研究セン ターWebサイトに掲載します。	青木 剛 楠本 和彦 永野 浩二 大島 利伸	18

自分の人間関係やコミュニケーションの理解のために

人間関係講座(ベーシック) 第10回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、自分の日常の中で起こっていることに目を向けながら、人間関係やコミュニケーションについて学んでいきます。

私たちが日常を過ごす中で、人間関係やコミュニケーションはとても重要な役割を果たしています。しかし、慌ただしい毎日の生活の中では、ゆっくり考えたり、ふりかえったりすることなく、やり過ごしてしまうことも多いのではないのでしょうか。

この講座では、普段自分が当たり前のように体験していることや感じていることに目を向け、そこで起きていることに気づき、言葉にすることを試みていきます。この試みを通して、自分自身や関わりの中で起きていることを改めて丁寧に捉え、人間関係やコミュニケーションのありようを検討していきたいと考えています。

この講座のねらいは、以下の3つの分野です。

- ①自分を知る
- ②「体験から学ぶ」ということを知る
- ③わかちあうことを通して、それぞれの中で起こっていることに気づく

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、体験学習に関する理論の小講義を通して学んでいきます。自分の人間関係や、自分自身について一度ゆっくりとふりかえってみたいと感じている方にお勧めです。

【プログラムの内容 (予定)】

小講義「体験学習のサイクル」「コンテンツとプロセス」「フィードバックの留意点」など
 日常のコミュニケーションや人間関係のふりかえりとわかちあい
 グループでの話し合いを通じた自分の価値観の検討

担当者 中尾 陽子・大塚 弥生
日程 2024年5月18日(土) 10:00~17:00
定員 24名
会場 南山大学 D棟
受講料 6,600円〈税込〉

※参考図書『人間関係トレーニング第2版』(ナカニシヤ出版、定価¥2,200税別)
 購入は任意です。購入を希望される方は、各自でご注文ください。

(ご注意) この講座は、ラボラトリー方式の体験学習を初めて受講される方を対象としたプログラムです。人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

■ 公開講座 2〔対面〕

グループの中での人間関係の理解のために

人間関係講座(グループ) 第124回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、グループの中で起こる様々な事柄を捉える視点を養うことを目指します。

私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、様々なグループに身をおいています。そのなかでは、どのようなことが起こっているのでしょうか。講座では、取り組んでいる事柄(コンテンツ)だけではなく、人と課題の関わりや人と人との関わり(プロセス)について見ていく枠組みをご紹介します。

この講座のねらいは、以下の2つの分野です。

- ①グループの中での人間関係(グループプロセス)に目を向け、グループプロセスに気づく力を養う
- ②グループの中での自分や他者の特徴に気づく

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、グループに関する理論の小講義によって学習を進めていきます。実際にグループによる実習に参加し、その過程を丁寧にふりかえり、メンバーとわかちあうことを通して、起こっていることに目を向けていきます。そのなかでは、グループの中での自分や他者の特徴についても理解が深まることが期待されます。グループの人間関係について関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。

【プログラムの内容(予定)】

小講義「グループプロセスとは?」「グループでの意思決定」「リーダーシップ」など
グループでの問題解決実習
グループでのコンセンサス実習
グループでの制作型実習

担 当 者	伊東 留美・大塚 弥生
日 程	2024年6月22日(土) 10:00~18:00 6月23日(日) 9:00~17:00
定 員	36名
会 場	南山大学 D棟
受 講 料	15,400円〈税込〉
※参考図書『人間関係トレーニング第2版』(ナカニシヤ出版、定価¥2,200税別) 購入は任意です。購入を希望される方は、各自でご注文ください。	

(ご注意) 人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

自己理解と対人コミュニケーション能力アップのために

人間関係講座(コミュニケーション) 第125回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、人間関係における自分自身のあり方とコミュニケーションの傾向に気づき、自己成長に向けた手がかりを掴んでいくことを目指します。

私たちは他者とのコミュニケーションを通して、相手とわかりあえた感じがして嬉しくなる体験や、逆に、どうしてこんな風に受け取られてしまうのだろう？と驚いてしまうような体験をすることがあります。このような時、私たちのコミュニケーションの中では、一体どのようなことが起こっているのでしょうか。

この講座では、コミュニケーションに影響を及ぼす諸要素のうち、特に“自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てながら、自分を見つめていきます。

この講座のねらいは、以下の2つの分野です。

- ①話したり聴いたりする時のコミュニケーションプロセスや自分の特徴に気づき、その気づきを日常のコミュニケーションに活かす
- ②自分自身の価値観・感情・興味など、自己理解を深める

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、自己やコミュニケーションに関する理論の小講義を通して学んでいきます。ゆっくりと自分を見つめたり、他者と話し・聴く中で生まれた気づきをわかちあう体験から、自分への理解が深まっていくことが期待されます。自分についてより深く知りたい方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたい方、日々のコミュニケーションで起こっている気がかりなことについて一度考えてみたい方にお勧めです。

【プログラムの内容 (予定)】

小講義「自己概念」「コンテンツとプロセス」

自己理解を深める実習

コミュニケーション実習

担当者	森泉 哲・中尾 陽子
日 程	2024年10月26日(土) 10:00~18:00 10月27日(日) 9:00~17:00
定 員	36名
会 場	南山大学 D棟
受講料	15,400円(税込)
※参考図書『人間関係トレーニング第2版』(ナカニシヤ出版、定価¥2,200税別)	
購入は任意です。購入を希望される方は、各自でご注文ください。	

(ご注意) 人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

人間関係講座(オンライン) 第2回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、オンラインで人と人が関わる際に起こること(=プロセス)を捉える視点を養うことを目指します。

リモートワークが増える中で、ミーティングや打ち合わせをオンラインで行う機会が多くなってきています。対面での関わりとオンラインでの関わりは、共通点と相違点、それぞれのメリットとデメリットがあると考えています。オンラインでの関わりは、Zoomなどのツールの使い方という技術的な側面に目が向きがちかもしれません。本講座では、ツールの使い方という技術的なスキルの向上ではなく、オンラインでの人と人が関わる際に起こる人間関係的な側面に焦点を当て、体験から学ぶことに取り組んでいきます。

この講座のねらいは、以下の2つです。

- ① 1対1でやりとりするときに起こること(コミュニケーションプロセス)や、グループの中で起こること(グループプロセス)に気づく力を養う。
- ② 人と関わるときの自分の特徴に気づく

このオンライン講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、小講義によって学習を進めていきます。オンライン上で参加者が関わる実習を体験し、その過程をていねいにふりかえり、参加者同士でわかちあうことを通して、お互いの中で起こっていたことに目を向けていきます。オンラインでの関わりや話し合いについて関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。対面で行われる人間関係講座と学び方や講座の内容は共通していますので、南山大学にお越しいただくことが難しいけれど、人間関係講座に参加したいと希望されている遠方の方も是非ご参加ください。

【プログラムの内容(予定)】

グループでの問題解決実習

ペアでのコミュニケーション実習

グループでのコンセンサス実習

小講義「プロセスとは?」「体験学習の学び方」「ジョハリの窓」「フィードバックの留意点」「グループでの意思決定」など

担当者	池田 満・中村 和彦
日程	2024年6月6日(木)、20日(木)、7月4日(木)、18日(木)、8月2日(金)、9月19日(木) 全6回 全日程9:30~12:30 ※全日程オンライン(Zoom)で開催します
定員	24名
会場	オンライン(Zoom)開催
受講料	19,800円(税込)
※参考図書『人間関係トレーニング第2版』(ナカニシヤ出版、定価¥2,200税別) 購入は任意です。購入を希望される方は、各自でご注文ください。	

(ご注意) 人間関係講座(オンライン)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり、他の受講者と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

深いかかわりから学ぶ
Tグループ〔人間関係トレーニング〕 第34回

日本の各地から集まったさまざまな人々と
 八ヶ岳を目の前に仰ぐ清里の豊かな自然は
 あなたが、人と人との関わりを探究するのを
 豊かにささえてくれるでしょう。



本当の自分自身でいられることの深い充足感
 人と人が関わるプロセスの変化に富んだ姿
 対話の中で人の心に触れた瞬間の感動
 深いところで自己と対面した驚き
 ズッシリとした学びの手応え



人間関係の体験学習の中でも、特に密度の濃い体験のできるトレーニングが「Tグループ」とよばれる集中的集団体験です。その中から、深く豊かな気づきや学びが生まれます。

10名程度が1グループになって、自由な雰囲気の中で対話を続けていくと、自己理解や他者理解、受容や共感、傾聴や援助関係、コミュニケーションやグループプロセス、などにかかわる様々な現象が起こります。その時その場に起こっている人間関係や自分や他者のありようについて、気づいたことや感じたことをお互いにフィードバックしあうことによって、生の人間関係から学ぶことが可能になるのです。

Tグループに代表されるラボラトリー方式の体験学習に参加し学ぶことを通して、現代社会の中に信頼の風土や人と人とのつながりを創り出す変革推進者（change agent）として、人々とともに生きられるようになることが期待されています。

気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと（参加者アンケートより）

- ・グループにおける作用について、体験を通して感じとり、学びとることができた。体験を通しての学びは、自分にとってとても大きなものだった。
- ・人は一人では生きられない。ともにあって、それぞれの価値を認め合い信頼しあうことのすばらしさを実感。

担当者	楠本 和彦・中西 美和 他
日程	2025年3月8日(土)～13日(木) 5泊6日 フォローアップ 2025年7月6日(日)予定 11:00～17:00(南山大学 D棟)
定員	16名
会場	(財)KEEP協会・清泉寮 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545
参加費	受講料 88,830円〈税込〉 滞在費 95,700円〈税込〉予定(シングル利用、宿泊・食事含む) ※現地徴収 ※ <u>宿泊制プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループでの体験学習方式で進めるため、全日程にご参加いただく必要があります。</u>

(ご注意) このトレーニングは、治療を目的としておりません。現在、治療・カウンセリングなどを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、治療者・カウンセラーなどの同意を得て、お申し込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

また、このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。

望ましい行動に目を向けよう

ポジティブ生徒指導入門 第4回

日本の学校で先生方は、切磋琢磨する学級集団をつくろうと努めてきました。そして、好ましい学級雰囲気は、高い学力にも結びついています。こうした学校の強みの反面、不登校やいじめなどの問題もなかなか解消できません。外国の学校での実践から学ぶことは、ないでしょうか。

米国の学校では、生徒指導の枠組みとして、カウンセリングやTET（教師学）、ゼロトランスなどが用いられてきました。でも、その限界や問題点が指摘される中、最近になってPBISという問題行動の予防を重視した試みが行われています。ポジティブな行動支援、あるいはPBSとも呼ばれます。それは急速に大きな流れを形成し、PBIS実践校は2万校におよんでいます。

PBISにおいては、生徒が取るべき望ましい行動を、3つの段階でポジティブに指導します。実際PBISを導入することで、行動面、学力面ともに、好ましい成果が報告されています。

日本の先生方は非常にお忙しいので、この講座は参加しやすいように半日で設定しました。ポジティブ生徒指導の概略をご紹介します、またPBIS第一段階での取り組みを中心に体験して頂きます。学校の先生方を主な受講者として想定していますが、教育に関心のある方であればどなたでも歓迎いたします。

気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと（参加者アンケートより）

- ・ポジティブ生徒指導の基本的な知識が良く理解できました。日本における実践例をもっと知りたいと思いました。
- ・学生にどう伝えようとポジティブになるか考える時間になった。
- ・自分の環境を客観的に見て、考えることができた。
- ・ポジティブな思考、表現を学ぶことができました。
- ・ポジティブ心理学を学んだことがあり、それを授業に取り入れているが、基本的な考え方が分かったことで、さらに理解を深めることができた。

担当者	宇田 光
日程	2024年8月3日(土) 9:00~12:00
定員	30名
会場	南山大学 D棟
受講料	3,800円〈税込〉
※参考文献	ストーモントラ『いじめ、学級崩壊を激減させるポジティブ生徒指導(PBS)ガイドブックー期待行動を引き出すユニバーサルな支援』明石書店

「人間尊重の心理学」を体験的に学ぶ

パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ(ベーシック) 第4回

パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャースは、当初、「クライエント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。

パーソンセンタード・アプローチは、人が誰でも持っている、よりよくいきていこうとする力(実現傾向)を信頼し、自分も相手も大切にできるような自他尊重の関係を探求していくことが基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も看護者もグループやコミュニティでの実践者にとっても大切な視点といえるでしょう。

このワークショップではパーソンセンタード・アプローチを学ぶための、はじめの一歩として、その基礎概念を体験的に学ぶことを目的としています。2日間、自分と相手をエクササイズやワークを通して味わうことで実感からパーソンセンタード・アプローチについて、それぞれなりの理解の手がかりをつかめればと思っています。

パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係に関心を持つ方などをこのワークショップのターゲットと考えています。

なお、このワークショップは<ベーシック>とあるように、のちに予定しているパーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<アドバンス>の前提としてプランニングされています。

担当者	青木 剛・永野 浩二・山根 倫也
日 程	2024年6月29日(土) 10:00~17:00 6月30日(日) 9:30~17:00
定 員	30名
会 場	南山大学 D棟
受講料	18,560円(税込)
※テキストとして「傾聴の心理学:PCAをまなぶ」(創元社、定価2,300円(税別))を使用します。会場では販売をしないため、各自でご購入いただき、ご持参ください。	

(ご注意) このワークショップは、治療を目的としておりません。自己理解・他者理解のためのエクササイズやワークを中心に展開してゆきます。その際、ペアやグループでの他のメンバーとの関わることも多々あります。現在、治療・カウンセリングなどを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、治療者・カウンセラーなどの同意を得て、お申し込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

「人間尊重の心理学」を体験的にさらに学ぶ

パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ(アドバンス) パーソンセンタード・リスニング・トレーニング 第3回

パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャースは、当初、「クライエント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。

パーソンセンタード・アプローチは、人は誰しも自分のもつ可能性を發揮したいという傾向（実現傾向）への信頼と、自分も相手も大切にするという自他尊重の関係性の探求が基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も、看護者も、グループやコミュニティでの実践者も大切な視点といえるでしょう。

このワークショップではパーソンセンタード・アプローチの基礎概念が理解されていることを前提として、その基礎概念をいかしたパーソンセンタード・リスニングを体験的に学ぶことを目的としています。2日間、自分と相手を味わうことを基盤とし、味わう中で生まれる実感を活用したパーソンセンタード・リスニングのそれぞれなりの手がかりをつかめればと思っています。

パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係に関心を持つ方をターゲットに考えています。

なお、このワークショップは<アドバンス>とあるように、既に予定されている<ベーシック>を修了していることを前提としてプランニングされています。この<アドバンス>としてのパーソンセンタード・リスニングでは、<ベーシック>での体験をふまえて、さらに傾聴についての理解を深めます。

担当者	青木 剛・並木 崇浩・大島 利伸
日程	2024年10月5日(土) 10:00~17:00 10月6日(日) 9:30~17:00
定員	30名
参加資格	パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<ベーシック>を修了していることが前提となります。
会場	南山大学 D棟
受講料	18,560円(税込)
※パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<ベーシック>にて使用したテキスト「傾聴の心理学：PCAをまなぶ」を当日お持ちください。	

(ご注意) このワークショップは、治療を目的としておりません。自己理解・他者理解のためのエクササイズやワークを中心に展開してゆきます。その際、ペアやグループでの他のメンバーとの関わることも多々あります。現在、治療・カウンセリングなどを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、治療者・カウンセラーなどの同意を得て、お申し込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

「人間尊重の心理学」を体験的に学ぶ

パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ(フォーカシング) 第2回

フォーカシングとは、パーソンセンタード・アプローチの創始者であるアメリカの臨床心理学者カール・ロジャースのもとで心理療法を学び、共に研究を展開していたアメリカの哲学者で心理療法家でもあるユージン・ジェンドリンによって開発されたアプローチです。

主な特徴としては、身体的にも実感できるが、はっきりと概念としては言葉にできないような感覚である、フェルトセンスに注意を向けかかわっていくことが挙げられます（詳細はテキストp.83～の第3章を参照ください）。このような感覚は実は日常生活にもありふれていますが、ワークを通して体験的に実感する方が理解しやすいものです。フォーカシングではそのようなフェルトセンスとのかかわりを通して、自他を理解したり、自身の次なる一歩や自身にとっての意味を探求したりすることを展開していきます。本ワークショップでは、フォーカシングで重視されるフェルトセンスを体験的に理解することをはじめの一歩として、さらに、フェルトセンスを活用した自己理解や他者理解について体験的に学ぶことを目的としています。心理療法の中で開発された方法ですが、心理臨床家に限らず、先述のフェルトセンスを通じた自己理解や他者理解を活かそうとされる教育関係者、対人援助職者、養育者、企業関係者などを本ワークショップのターゲットと考えています。

フォーカシングは上記の特徴がありながらも、パーソンセンタード・アプローチで重視される人間尊重のありようや姿勢を基盤としています。そのため、既に予定されている<ベーシック>を修了していることを前提としてプランニングされています。

担当者	青木 剛・加藤 敬介・竹田 悦子
日程	2024年11月9日(土) 10:00~17:00 11月10日(日) 9:30~17:00
定員	30名
参加資格	パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<ベーシック>を修了していることが前提となります。(The International Focusing Instituteの資格(TNTやTRなど)を取得されている方も参加可能ですので、申込時にお申し出ください。)
会場	南山大学 D棟
受講料	18,560円(税込)
※パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ<ベーシック>にて使用したテキスト「傾聴の心理学：PCAをまなぶ」を当日お持ちください。	

(ご注意) このワークショップは、治療を目的としておりません。自己理解・他者理解のためのエクササイズやワークを中心に展開してゆきます。その際、ペアやグループでの他のメンバーとの関わることも多々あります。現在、治療・カウンセリングなどを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、治療者・カウンセラーなどの同意を得て、お申し込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

「人間尊重の心理学」を体験的に学ぶ

パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップベーシック・エンカウンター・グループ 第2回

パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャースは、当初、「クライエント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。

パーソンセンタード・アプローチは、人が誰でも持っている、よりよくいきていこうとする力（実現傾向）を信頼し、自分も相手も大切にできるような自他尊重の関係を探求していくことが基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も看護者もグループやコミュニティでの実践者にとっても大切な視点といえるでしょう。

ベーシック・エンカウンター・グループは、パーソンセンタード・アプローチの代表的なグループ・プログラムです。

7名程度の人間が同じ場所と時間を共にしていきます。何をするかをあらかじめ決めないで、そこにいる人間の自発的な「語る／聴く」というやりとりを積み重ねながら、お互いを大切に出来るような安全感・信頼感のある場をみんなで作っていきます。そんな中での自分や他者とのふれあい・出会いの体験が期待できるグループがベーシック・エンカウンター・グループです。

パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係に関心を持つ方などをこのワークショップのターゲットと考えています。

担当者 青木 剛・楠本 和彦・永野 浩二・大島 利伸

日程 2泊3日(1日目 13:00～3日目 16:00)を予定

定員 14名

※宿泊制プログラムのため、施設にご宿泊いただき全日程にご参加いただく必要があります。

会場、参加費等の詳細については決定次第、人間関係研究センターWebサイトに掲載しますのでご確認ください。

ご参考として、昨年度の会場、参加費は以下のとおりです。

会場 南山学園研修センター（研修・宿泊）
〒466-0834 名古屋市昭和区広路町隼人30 TEL 052-837-6466

参加費 受講料 34,730円（税込）
滞在費 12,600円（税込）（宿泊・食事を含む）

ご注意）このワークショップは、治療を目的としておりません。現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、担当医師・カウンセラー等の同意を得て、お申し込みの際に同意を得たことをご連絡ください。同意のない場合の参加はお断りすることがあります。

2024年度公開講演会について

当センターでは、広く一般の皆様へも人間関係に関する情報をお届けするために、毎年公開講演会を開催しています。参加は無料です。お気軽にご参加ください。

2024年度公開講演会につきましては、現在企画中です。詳細が決まりましたら、当センターWebサイトにてお知らせいたします。楽しみにお待ちしております。

公開講演会案内ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/seminar/index.html>

講演会については、メールマガジン（毎月1回配信）でもご案内いたします。ご希望の方はメールマガジンにご登録ください。

メールマガジン申込ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/center/newsletter.html>

これまでの公開講演会

下記は過去4年間に当センターで開催された公開講演会です。

実施年度	講師／タイトル（講師の所属は講演会時のものです）
2020年	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止
2021年	藤田 一照さん（曹洞宗僧侶） 「縁を愉しむ～artとしての人間関係～」〔オンライン開催〕
	辻 正矩さん（認定NPO法人コクレオの森 代表理事） 「小さな学校の大きな挑戦 箕面こどもの森学園の理念と実践」〔オンライン開催〕
2022年	山浦 一保さん（立命館大学 スポーツ健康科学部 教授） 「組織のダークサイドー それでも人はつながり続ける」〔オンライン開催〕
	高木 佑透さん（映画「僕とオトウト」監督） 「僕とオトウトの「かなしみ」について」〔対面開催〕
2023年	今井 ミカさん（映画「虹色の朝が来るまで」監督） 「映画を通して『知る』多様な世界～ダブルマイノリティとして生きる～」〔対面開催〕

*過去の公開講演会の内容は、人間関係研究センター紀要『人間関係研究』に掲載されています。ぜひWebサイトをご覧ください。

刊行物の紹介ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/publish/>

センター員

- ①現在の所属 ②学歴・学位・資格など
- ③研究分野・現在の関心や取り組んでいること
- ④メッセージ

宇田 光 UDA, Hikaru

①南山大学教職センター教授②名古屋大学大学院教育心理学専攻博士後期課程満期退学，修士（教育学），専門生徒指導士③指導方法の改善，ブリーフ・セラピー（ブリーフ・カウンセリング），米国におけるポジティブ生徒指導④調べものをしていて、「えっ、そうだったのか。知らなかった！」とびっくりさせられることがよくあります。この年齢までボウッと生きてきましたが，幼稚園児に叱られたりしないように学び続けたいと思います。

畑山知子 HATAYAMA, Tomoko

①南山大学体育教育センター准教授②九州大学大学院人間環境学府博士後期課程満期退学，博士（人間環境学）③ヘルスプロモーション，ボディワーク，対人援助職のためのボディワーク構築の実践研究④ボディワークに出会って，からだは，単に骨や筋肉，臓器等の集合体ではなく，その生きざまをあらわしている！と実感してから，自己の全存在としての「からだ」と出会う旅が始まりました。さまざまなワークを通して，からだと対話し，その叡智にふれる体験を重ねて，いまに至ります。ご一緒に，からだの探求してみませんか？

伊東留美 ITO, Rumi

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②Lesley University, Graduate School of Arts and Social Sciences, 博士課程修了, Ph.D.(Expressive Therapies), アメリカ・アートセラピー協会認定アートセラピスト，臨床心理士，公認心理師③芸術（視覚的）活動とスピリチュアリティ，美術教育における変容的学習，アートベース・リサーチ④芸術活動は「気づく・知る」術となることを実践と研究を通して探っています。毎年，本カタログの表紙絵を担当しています。ご意見，感想，連想したことなどよろしければ教えてください。

森泉 哲 MORIIZUMI, Satoshi

①南山大学国際教養学部教授②名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士後期課程満期退学，博士（心理学），University of New Mexico, Department of Communication and Journalism 博士課程修了，Ph.D. (Communication)③社会心理学，対人・異文化コミュニケーション④文化，関係，コミュニケーションは私たちの日常生活では考えることもない空気のような存在です。それをあえて多様な視点から意識することによって，いろいろな気づきが得られると思います。ただ，あまり考えすぎても...というときは，私は何も考えずジョギングをしてリセットするようにしています。

青木 剛 AOKI, Tsuyoshi

①南山大学人文学部心理人間学科講師②関西大学大学院心理学研究科博士課程後期課程修了，博士（心理学），臨床心理士，公認心理師，Focusing Institute認定Focusing Professional③パーソンセンタード・アプローチ，フォーカシング指向心理療法に関する実践・研究，フォーカシングに関する体験学習④その人らしさ・自分らしさを大切にしたい人間関係やかかわりに関心があります。そうした関係やかかわりは唯一つでなく，多様にあると思います。講座もそれぞれのその人らしさが発揮され，多様なあり方が見いだせるものであったらと願っています。

池田 満 IKEDA, Mitsuru

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②国際基督教大学大学院教育学研究科教育原理専攻心理学専修博士後期課程修了，博士（教育学），認定心理士，応用心理士，専門社会調査士③心理・社会的問題の解決と予防を目指すプログラムの開発・評価の理論と方法についての実践を通じた研究④対立関係にある国をつなぐ紛争予防教育のプログラム評価に取り組む中で，人と人との関わりが平和構築に貢献することを実感しています。人間関係の学びは，目の前の人との関わりだけでなく，世界の平和につながるものだと信じています。

楠本和彦 KUSUMOTO, Kazuhiko

①南山大学人文学部心理人間学科教授②広島大学教育学部心理学科卒業，大阪教育大学大学院教育学研究科障害児教育専攻修了，佛教大学教育学研究科臨床心理学専攻博士後期課程満期退学，博士（教育学），臨床心理士，公認心理師③カウンセリング，箱庭療法，グループアプローチ④箱庭療法等のイメージ，Tグループ等のグループアプローチを通して，細やかにていねいに心や人にふれていければと願っています。本センター紀要に関心あるテーマについて論文を書いていますのでご覧ください。

中村和彦 NAKAMURA, Kazuhiko

①南山大学人文学部心理人間学科教授②名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻後期博士課程満期退学，修士（教育心理学），米国NTL Institute 組織開発Certificate Program修了③組織開発，ラボラトリー方式の体験学習，グループ・ダイナミックス，組織開発実践者養成やコンサルティングなどの実践，アクションリサーチ④グループやファシリテーションの講座を担当しています。人と人との間で起こるプロセスに働きかけるという，正解のない学びを講座の中でともに探究していきましょう。

中西美和 NAKANISHI, Miwa

①南山大学人文学部心理人間学科教授②同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程後期課程単位取得満期退学，博士（心理学），臨床心理士，公認心理師，日本ゲシュタルト療法研究所にてDiploma取得③ゲシュタルト療法，ヒューマニスティック・グループ・アプローチ④ゲシュタルト療法やTグループに出会い，私が私になっていく経験をしました。置かれた環境の中で，自分が「いかに在るのか」に気づき，他者と繋がりながら，自分らしい選択をし，納得して生きてゆくための知恵を共に探していきましょう。

大塚弥生 OTSUKA, Yayoi

①南山大学教職センター准教授②奈良教育大学大学院教育研究科学校教育専攻教育心理学専修修士課程修了，修士（教育学），臨床心理士③対人関係やコミュニケーションのトレーニング，グループや個人の成長，対人援助に係る研修④最近の関心領域は，ナラティブ・セラピー（プラクティス）です。「The problem is the problem, the person is not the problem.」という信条をもとに，他者に語ることや他者の語りをきくことで生まれる気づきや学びを，ともに見つけていきたいと思っています。

中尾陽子 NAKAO, Yoko

①南山大学経営学部准教授②名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程満期退学，修士（心理学）③ラボラトリー方式の体験学習の実践と研究④18才の時に南山短期大学でラボラトリー方式の体験学習とハンドベルに出会い，この二つがずっと私の軸となりながら，あっという間に30年以上の月日が経ちました。その中で出会った方々との関わりを通して，たくさんの気づきと喜びと学びをいただいています。本当に幸せな人生だなあ…と感じます。講座を通して，みなさまとこの幸せを少しでも共有できるように頑張ります！

土屋耕治 TSUCHIYA, Koji

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程満期退学，在学中，メルボルン大学訪問研究員，修士（心理学）③社会心理学，組織開発，体験学習，小集団に関する実験室実験，Tグループ，組織開発の実践④色々と自分でやってみる，ということがどうも自分に通底する志向性ということが分かってきました。たとえば，料理については，体験した味をどう再構成できるのかに注力しています。気負わずに気楽なやりとりも好きなことで，講座はじめ皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

※職名は2024年4月1日現在（予定）

2024年度 公開講座担当講師

- 当センター員の他、以下の方々に講師としてお越しいただきます ●

加藤敬介 KATO, Keisuke

①堀クリニック②北海道大学文学研究科修士課程修了，修士（文学），臨床心理士，公認心理師，Focusing Institute認定Focusing Professional③パーソンセンタード・アプローチ，フォーカシング指向心理療法に関する実践・研究，医療・教育領域における心理臨床

永野浩二 NAGANO, Koji

①追手門学院大学教授②九州大学大学院 教育学研究科 博士課程単位取得満期退学，臨床心理士，公認心理師③その人らしく生きていくためには何が必要か，そのプロセスはどのように進むのか，ということへの実践・研究

並木崇浩 NAMIKI, Takahiro

①愛知淑徳大学学生相談室 助教②関西大学大学院心理学研究科博士（心理学），臨床心理士，公認心理師③パーソン・センタード・セラピー，セラピスト・トレーニング，出会いの哲学

大島利伸 OSHIMA, Toshinobu

①南山大学附属小学校教諭②名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻博士後期課程満期退学，修士（教育学），臨床心理士，公認心理師③人間中心の教育の在り方，ベーシック・エンカウンター・グループを活用して「保護者への子育て支援グループ」や「教員への児童理解相談会」の実践

竹田悦子 TAKEDA, Etsuko

①労働衛生コンサルタント事務所オックス メンタルヘルス室②九州工業大学大学院生命体工学研究科博士後期課程単位取得退学，公認心理師，保健師，Focusing Institute認定Focusing Professional③パーソンセンタード・アプローチ，産業領域におけるフォーカシングの実践・研究，働く人の創造性を育むフォーカシング

山根倫也 YAMANE, Tomonari

①関西医科大学精神神経科学講座研究員②関西大学大学院心理学研究科心理学専攻博士課程後期課程（2018年4月入学・在学中），臨床心理士，公認心理師③PCAの初学者トレーニング，小学校におけるPCAグループ的学級集団形成に関する調査

※職名は2024年4月1日現在（予定）

研究の推進

当センター員がそれぞれの専門性を活かしながら、ラボラトリー方式の体験学習の実践研究を始め、人間関係の諸領域に関する研究を行っています。外部資金による受託研究としては、文部科学省「専門職大学院等教育推進プログラム」GP（2007～2008年度）、文部科学省「大学・大学院における教員養成推進プログラム」GP（2005～2006年度）、国際医療センターの受託研究「人間中心の医療の実現に向けての教育プログラムに関する研究」（2003～2004年度）に取り組んできました。

また、センター紀要『人間関係研究』の刊行、定例研究会の実施、人間関係に関する研究資料の収集などを通じて広く社会へ貢献していくことを目指しています。

研究成果の公表：紀要『人間関係研究』

人間関係に関する研究や教育の成果を広く社会に公表するために、研究紀要『人間関係研究』誌を発行しております。掲載論文は当センターWebサイトでも閲覧可能です。

2013年度（第13号）特集「共同体の変革」

2014年度（第14号）特集「グループの可能性と広がり」

2015年度（第15号）特集「体験学習」

2016年度（第16号）特集「人間関係再考」

2017年度（第17号）特集「グループによる学び」

2018年度（第18号）特集「人間関係研究センター40年をふりかえる」

2019年度（第19号）特集「NTLと体験学習／組織開発」

2020年度（第20号）特集「パーソンセンタード・アプローチとの出会い」

2021年度（第21号）特集「コロナ時代を生きる」

2022年度（第22号）特集「ICTと人間関係」

2023年度（第23号）特集「多様性」

*当センターの前身である南山短期大学人間関係研究センターからも、研究紀要『人間関係』（全17巻）が発行されています。

在庫のある紀要については
送料実費でお分けします。
請求方法はWebサイトを
ご覧いただくか、当センターまで
お問い合わせください。

定例研究会

人間関係に関する研究テーマのもと、毎年、定例研究会を開催しています。2023年度に実施された定例研究会は、以下の通りです。

	テーマおよび発表者
第1回	テーマ：新刊第2部の内容について ラウンドテーブル形式
第2回	テーマ：新刊全体の構成について ラウンドテーブル形式

センター員の社会貢献 (2021~2023年度)

※下記は当センター員が受託した研修・講座・企画の一例です。

研修・講座・企画名等	委託者・主催者
子育て支援グループ	南山大学附属小学校
PCA Network カンファレンス	PCA Network
PCA Network 東海	PCA Network
組織開発基礎講座	OD Network Japan
組織開発論	慶應丸の内シティキャンパス
企業内「組織開発 (OD)」推進者養成コース	関西生産性本部
南山大学フォーカシング研究会	南山大学フォーカシング研究会
子どもとかわる専門職のためのフォーカシング研究会	子どもとかわる専門職のためのフォーカシング研究会
愛知県看護協会認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際	愛知県看護協会
学級・学年づくりに生かす教育相談講座「人間関係づくりト レーニング」	愛知県総合教育センター
教育相談基礎講座「グループアプローチ演習」	名古屋市教育センター
パーソネル・マネジメント・セミナー	人事院
フォーカシングの心理臨床の未来への貢献 —身体とプロセスへの注目をめぐって—	日本心理臨床学会第41回大会
PCA乗鞍	人間関係研究会
パーソンセンタード・アプローチの学びに関する研究会	パーソンセンタード・アプローチの学びに関する研究会
ヤンセン国際寮インクルージョンワークショップ	南山大学 ヤンセン国際寮
ヤンセン国際寮インクルージョンワークショップ「リーダー シップ」	南山大学 ヤンセン国際寮
教育相談基礎講座「グループアプローチ演習」	名古屋市教育センター
名古屋大学教育学部附属中・高等学校 PTA向けワーク ショップ	名古屋大学教育学部附属中・高等学校 PTA
経営力再構築 伴走支援シンポジウム	中小企業庁
フォーカシング・リスナートレーニング	フォーカシング研究会
現職研修「ハイポイントインタビュー」	六ッ美西部小学校
教師のためのカウンセリング講座「ナラティヴアプローチを 生かした教育相談」	日本学校教育相談学会愛知支部

(順不同)

受講申込手順

1

受講申込

1 受講申込

①申込・受付について

	期 間	申 込	受 付	結果通知
第1次 受付 期間	4/1(月) 正午 ～ 4/12(金) 正午	Webページ・ ファクス	抽選にて受講者・ 「キャンセル待ち」 順位を決定	4/17(水) まで
第2次 受付 期間	4/18(木) 正午以降	Webページ・ ファクス	先着順	申込日より 1週間以内

第1次受付期間： 2024年4月1日(月)正午～4月12日(金)正午

- ・この期間内に、Webページ又は、ファクスにて申込を受け付けます。
- ・受講申込を集計し、定員を超えた講座については、抽選にて受講者を選び、キャンセル待ちの順位を決定いたします。
- ・抽選の結果は原則e-mailにて4月17日(水)までに通知いたします。
- ・受付期間外の申込は、受け付けることができませんので、ご了承ください。

第2次受付期間： 2024年4月18日(木)正午～随時

- ・これ以降は、Webページ、ファクスにて申込を先着順にて受け付けます。
- ・受講可否等のご連絡は、原則e-mailにて申込日より1週間以内に通知いたします。

[申込方法]

- ・Webページ⇒ 申込専用フォームをご利用ください。
<http://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/training/courses.html>
 4月1日(月)正午、4月18日(木)正午に申込用Webページを更新します。申込前に画面更新を行ってください。
- ・ファクス⇒ ファクスでお申込み希望の旨、まずはお電話ください。

②講座申込時のご注意

- ・参加資格が必要となる講座や、初回申込者を優先受付する講座があります。詳細は、p.9～18の各講座案内ページをご確認ください。
- ・都合により担当講師が変更になる場合があります。
- ・個人名での申込のみとさせていただきます。

③受講料割引制度について

- 対象者：大学生、大学院生、大学の研修生や通信正科生、
 南山学園職員
- 不 可：科目等履修生、専門学校生
- 申込時の申請に限りますので、割引の希望を事前にご連絡下さい。
 詳細は、お問い合わせください。なお、一部の講座は割引対象外となります。

[お問い合わせ]

- 人間関係研究センター
 e-mail：ninkan-c@nanzan-u.ac.jp 電話：052-832-5002
 ※事務受付時間 10：00～17：00 (土日祝日休み)



2 受講料の振込

- ①原則e-mailにて振込依頼を送付いたします。受講料振込依頼案内に記載されている指定の銀行口座へお振込ください。
- ②期日にご入金が確認できなかった場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

3 受講案内

受講料の入金確認後、原則e-mailにて受講案内等をお送りします。振込後、1週間以内に届かない場合はご連絡ください。

4 開講日

- ・対面開催の講座につきましては、各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場が異なります。お間違いのないよう十分ご確認ください。
- ・オンライン開催の講座につきましては、各講座の日程に合わせて、ZoomのURL、ID、パスワードをお送りいたします。

〈受講キャンセルについて〉

①受講キャンセル料

キャンセル連絡 (当センター受付日)	キャンセル料
講座開始45日前～14日前	受講料の10% ※
講座開始13日前～3日前	受講料の50% ※
講座開始2日前～当日	受講料の全額 (返金不可)

※返金時の振込手数料は
ご負担ください

- ②受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡ください。当センター事務受付時間外にe-mail、またはファクスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。土日祝日・夏期・冬期休業期間等は事務受付いたしませんのでご注意ください。
- ③宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきご返金対応いたします。
- ④入金後の講座変更については、同年度内の講座に限り、1件につき1回可能です (定員に空きがある場合のみ)。差額は追加振込もしくはご返金にて対応いたします (振込手数料はご負担ください)。講座開始14日前までにお申し出ください。
- ⑤新型コロナウイルスまたはインフルエンザの感染が理由で受講をキャンセルされた場合は、診断書の提出を条件に、全額ご返金いたします (振込手数料はご負担ください)。

〈講座の中止について〉

申込者が規定の人数に満たない場合や、担当講師の緊急の都合により、開講を中止することがあります。当センターの理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。

〈公共交通機関ご利用のお願い〉

本校に駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。ただし、身体・健康上の理由等やむを得ない事情により、自動車での来校を必要とする場合は、申請により学内の駐車を許可する場合があります。申込の際にご相談ください。

緊急時（悪天候など）における講座の取り扱いについて

緊急時における講座（オンライン講座も含む）の取り扱いについては下記の通りです。

南山大学で開催される公開講座の場合は、受講生の皆様がニュースなどの情報でご判断いただきますようお願いいたします。

なお、判断が難しい場合などは、当センターWebサイトまたはお電話でご確認ください。
(電話：052-832-5002)

1. 暴風警報発表時の講座措置について

愛知県尾張東部に「暴風警報」が発表された場合、講座の措置については次の通りとします。

※警報発表区分については、気象庁Webページにてご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saibun/aichi.pdf>

- ①午前7時より前に解除の場合→平常通りの講座
- ②午前7時以降に解除の場合→講座は中止
- ③講座開始以降に発表された場合→大学の指示による

注)「尾張東部に発表」とは、愛知県における警報発表区分の①尾張東部②愛知県西部全域③愛知県全域、のいずれかに警報が発表された場合が該当します。

2. 交通機関ストライキ時の講座措置について

- ①名古屋市営交通機関のストライキの場合→「1. 暴風警報発表時の講座措置について」の措置に準じる
- ②JRおよび私鉄のストライキの場合→平常通りの講座

3. 「南海トラフ地震臨時情報」*が発表された場合の講座措置について

情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報が発表されます。

「南海トラフ地震臨時情報」に付記されるキーワード	発表に伴う講座等の措置	発表解除に伴う講座等の措置
調査中 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」が開催された場合に発表される。	①発表があった場合でも、平常通り実施。	
巨大地震警戒 想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価された場合に発表される。 巨大地震注意 ・監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価された場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く）に発表される。 ・想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価された場合に発表される。	①講座開始前に発表があった場合は、来学せずに自宅待機。来学途中であれば速やかに帰宅。 ②講座開始後に発表があった場合は、講座を中止し、速やかに帰宅。	解除後、開催日時を改めて検討。

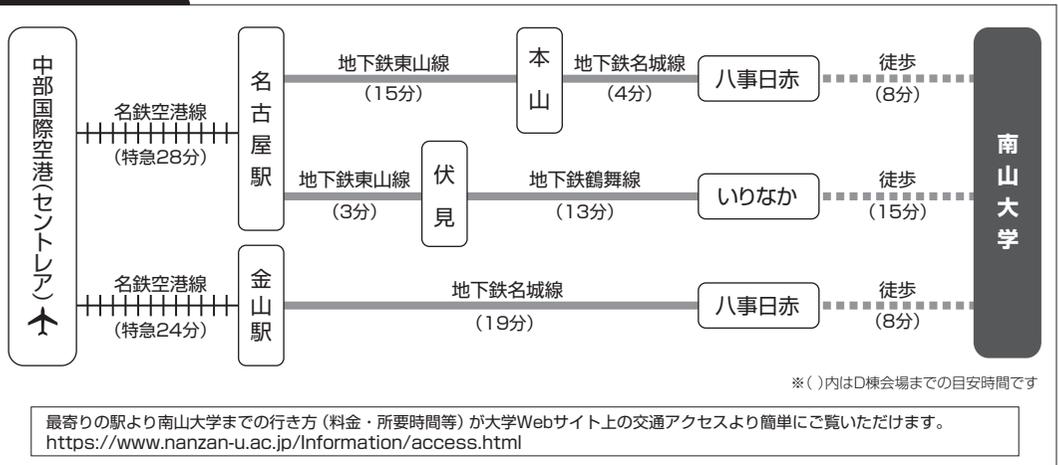
※「南海トラフ地震臨時情報」発表条件（気象庁Webページより）

- ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

アクセス



交通案内





多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会を創り出すために



南山大学 人間関係研究センター
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
電話：052-832-5002 ファクス：052-832-3202
事務受付時間：10:00～17:00（土日祝日休み）
e-mail: ninkan-c@nanzan-u.ac.jp
<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/>